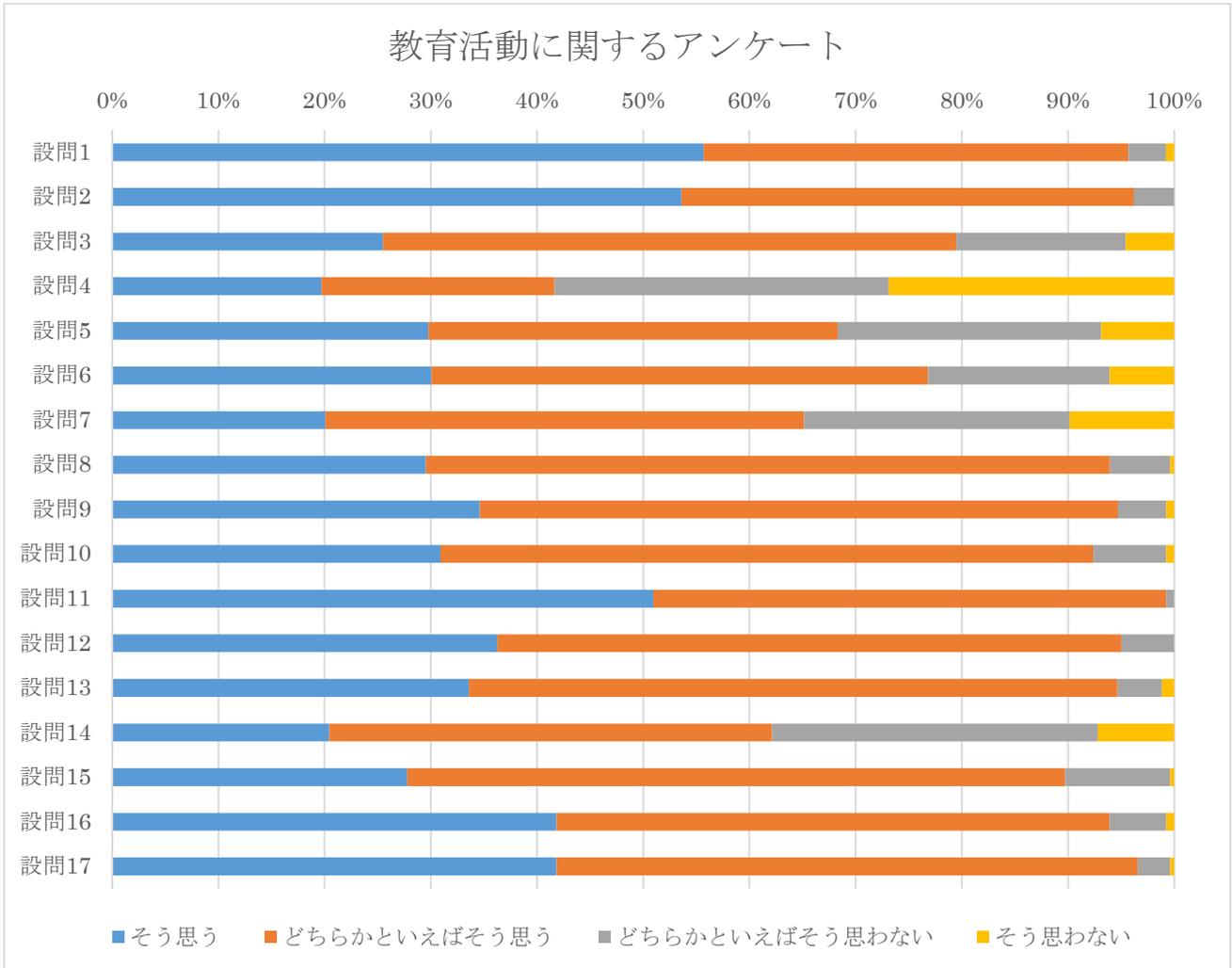


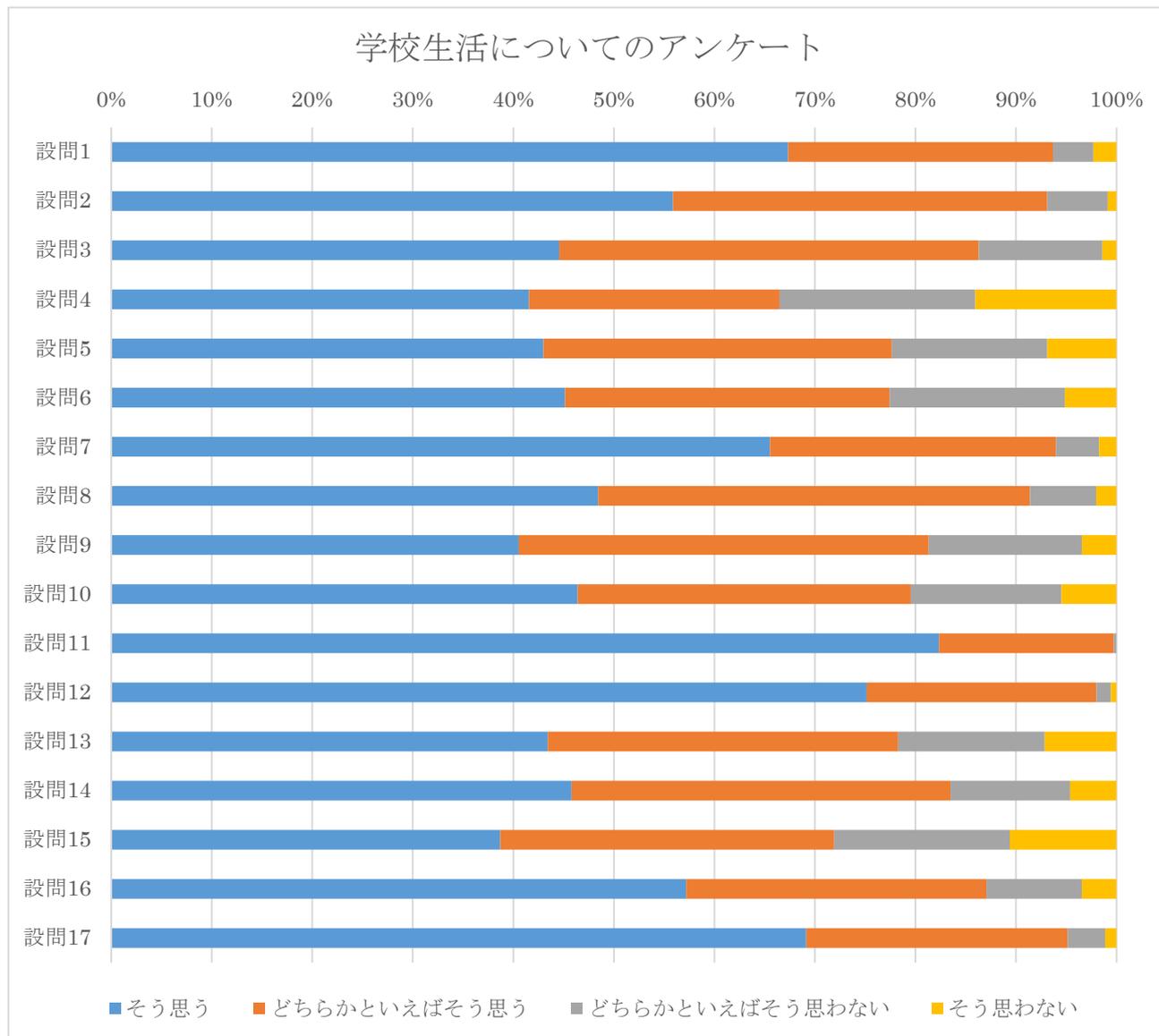
保護者の皆様には7月に実施した教育活動に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集約した結果をご紹介します。いただいた貴重なご意見を今後の学校の教育活動に生かしていきます。

【アンケートの結果】（保護者）



- 設問 1 お子さんは楽しく学校に通っている。
- 設問 2 お子さんは友達となかよく過ごしている。
- 設問 3 お子さんは意欲的に学習に取り組んでいる。
- 設問 4 お子さんは家庭ですすんで本を読んでいる。
- 設問 5 お子さんは早寝・早起きができる。
- 設問 6 お子さんは家庭でバランスよくごはんを食べている。
- 設問 7 お子さんは家庭での学習の習慣が身についている。
- 設問 8 学校はルールを守り、はじめのある行動がとれる子どもを育てている。
- 設問 9 学校は子どもたちが先生や友達の話の聴いて、しっかり考える授業づくりに努めている。
- 設問 10 学校は授業や「お話タイム」などを通して、人の話を聴いたり、自分の思いを話したりする活動の充実に向けて取り組んでいる。
- 設問 11 学校は避難訓練をはじめとし、常に子どもの安全を考えている。
- 設問 12 学校は交通ルールなどのきまりを守り、「自分の命は自分で守る」ことのできる子どもを育てている。
- 設問 13 学校は教育方針や子どもたちの教育活動の様子を、学校新聞・学年通信・ホームページなどで、よくわかるように伝えている。
- 設問 14 学校は学校や地域の人たちにすすんであいさつできる子どもを育てている。
- 設問 15 学校は「朝の読書」や授業、休み時間などを使い、読書指導を積極的に行っている。
- 設問 16 先生は子どものよさを認め、伸ばそうとしている。
- 設問 17 先生は授業をわかりやすくするための工夫をしている。

【アンケートの結果】（児童）



- 設問 1 学校は楽しい。
- 設問 2 友だちと協力して仲よく過ごしている。
- 設問 3 すすんで学習している。
- 設問 4 家で本を読んでいる。
- 設問 5 いつも早寝、早起きをしている。
- 設問 6 ごはんは、好ききらいなく食べている。
- 設問 7 家で宿題や勉強をきちんとしている。
- 設問 8 きまりや約束を守っている。
- 設問 9 話をよく聞いて、考えたり意見を言ったりしている。
- 設問 10 お話しタイムや授業で発言している。
- 設問 11 避難訓練に真剣に取り組めた。
- 設問 12 交通ルールやマナーを守っている
- 設問 13 学級通信や学年通信を読んでいる。
- 設問 14 学校の行き帰りなどに、地域の人にすすんであいさつをしている。
- 設問 15 学校で本をたくさん読んでいる。
- 設問 16 授業で褒められてうれしかった時がある。
- 設問 17 先生は、わかりやすく教えてくれる。

(ご意見・ご要望)

1 学級・学年指導について

- いつも子どもたちのために尽力してくださる先生に感謝している。
- 子どもから聞く話だと、担任が子どもの話を聞いているのか不安に思うことがある。
- ADHDなどの発達における特性について、学校全体でもっと理解を深めてもらいたい。自分の担当するクラス以外（の子）はわからないということがないようにしてほしい。
- 先生がたが、発達への理解がないことが大きな問題。理解のある先生や専門のかたについてもらいたい。一人一人が安心して学校に通えるように、特性に応じた関わり方に努め、支援をしてくださることを切に願う。
- いじめや暴力暴言などについてもっと全体にねばり強く指導してもらいたい。

まず、不安な気持ちを抱かせてしまっていることを深くお詫び申し上げます。ご指摘を真摯に受け止め、子ども理解・適切な指導支援に尽力してまいります。お子さんへの対応で疑問や心配があった際は早期対応に努めますので、遠慮なく、その都度速やかに学校へご相談ください。

校内外の研修で教職員一同研鑽に努めるほか、教科担任制の導入や情報共有の場の工夫により、学校全体で指導に当たっていくよう心がけていますが、至らない点は改善をしていきます。学校は、いろいろな人やこと・ものと出会い、その中で子どもたちが失敗や成功の体験を重ねて成長する場です。問題の未然防止だけでなく、起きた問題をきっかけに解決法を子どもたちと一緒に考えていく指導を心がけ、たくましさやコミュニケーション力を育てていきたいと思っております。

2 学習指導、家庭学習などについて

- 先生方のお陰で、楽しく学校に通えている。
- 3学年から自主学習が始まったが、学習の進め方、自主学習になった理由を子どもがよく理解していない。一度、どのように取り組めば良いのか、しっかりと伝えていただきたい。
- コンクールの練習プリントがなくなり、親が問題を考えて勉強させないと、自力では難しい。
- 文章を書く宿題がない。書く力を伸ばすため、週末の宿題に日記を取り入れてほしい。

コロナ禍における学校の臨時休校中、学校や教師からの指示・発信がないと何をしてよいかわからず学びを止めてしまう実態が全国的に見られたとの報告があります。それ以前も、家庭学習の時間が諸外国に比べて短く、「出されたもの（＝宿題）以外はやらない」という傾向が高いことが調査からわかりました。「子どもたちを自立した学び手に育てる」重要性が今日的な教育課題の一つであり、授業形態もICT活用等により更に個に応じたものに変わりつつあります。本校でも、授業改善を進めていくとともに、家庭学習において「同じものを一律に出す」のではなく、「自分で計画を立て、内容を選んで取り組める」ようにしていきたいと考えています。学習習慣の定着のために低学年では課題を出しますが、中学年からは子どもたちに少しずつ委ねていきます。一朝一夕に身につくものではないので、経験を重ねる必要があります。学校では、コンクールの2週間前からは朝の活動を各自で復習する時間としました。発達段階にもよりますが、基本的には各自で取り組み、タブレットやドリル、問題集、プリント等を使って復習します。家庭学習についても、随時、担任から指導や助言をしていきます。教員に代わって問題作りをするといったご負担をかけてしまうのは、学校としても本意ではありません。取り組む時間や約束事などをお子さんと一緒に考える、集中できる環境づくりをするといった点でご支援いただければ幸いです。

3 学校行事について

- コロナウイルスで制限されていた行事を復活させてほしい。大勢の人の前で発表する活動の機会を増やしていただけると嬉しい。全校合唱や1/2成人式など復活させてほしい。
- 授業以外に、給食の様子や掃除等の様子が見てみたい。(2人)
- 授業参観だけでは普段の学校での様子や友達関係が分かりにくい。親が参加型の行事や放課の様子を見学する機会など、もっとあるとよいのではないかと思う。
- 引き取り訓練について再考していただきたい。授業参観時に行うのは本番さながらではない。児童全員の引き取りが完了するまでの時間や混雑する時間帯や場所等の把握が目的であれば意義を感じるが、手順の確認のためだけなら必要性は感じない。保護者に仕事を休ませるのであれば、それに見合った意義ある行事にしてほしい。ご一考の程、よろしく申し上げます。

コロナ禍を機に従来の取り組みを見直し、改善する動きがどの学校でも行われています。保護者の皆様の声を参考に、豊小でも検討していきます。現在は長寿命化工事を行っており、その進捗状況も考慮しますので、ご了承ください。また、引き取り訓練についてのご指摘はごもっともで、学校としても見直しを図る意向です。近年の自然災害の状況に伴い、安全対策や緊急時対応の強化は必須です。安全かつスムーズな避難・引き取りができるよう、訓練内容や実施方法について改善を図ります。今後も、ご理解とご協力をお願いいたします。

4 登下校の様子から

- ここ近年、最高気温が高すぎて暑過ぎる。ネッククーラーを持たせてもいちばん暑い帰りにぬるくなっていて使えない。テレビでやっていた三重県の小学校のように 全校生徒の分が冷やせる冷凍庫を設置してもらえるとよいと思う。
- 通学帽子は、自由にしてほしい。夏は特に熱中症を防ぐ対策になる。
- 旗当番になると子どもたちの挨拶の少なさを残念に思う。また、南門の前の花壇は何も植えられておらず、明るい雰囲気がないのがいつも残念に思う。
- 朝の旗当番の際に挨拶をしてくれる子が少ないように感じる。朝も早いからかなと思っていたが、子どもに聞くと校門付近の先生がたには元気に挨拶をする子が多いようだ。学校内だけじゃなく、地域の方々にも挨拶ができるといいかなと思う。

三重県では、町が予算化し、町内2校ある学校へ設置をしたそうですね。豊橋は学校数が多いため、予算だてが難しいと思われれます。水に浸すと再度冷えるネッククーラーを利用している子をよく見かけます。学校ではその他に日傘も推奨しています。ぜひ利用をご検討ください。学年帽子はカラフルで目だつため、安全上の効果があります。個人的な事情があれば対応しますので、その場合はご相談いただければと思います。

挨拶は、豊っ子の課題です。児童会の子たちから「挨拶ができるようにしたい！」という声があり、9月は「相手を意識したあいさつをしよう」という生活目標を提案してくれました。がんばることは「相手に聞こえる声で・相手の目を見て・相手より先に」だそうです。どの教室にも掲示をし、朝の会や帰りの会で意識づけを図っています。朝、門のところで子どもたちを迎えますが、もう少し元気よく挨拶ができるといいなと感じます。返事がなくてもめげずに、子どもたちの顔を見て明るく挨拶をするように心がけています。登校時はまだ眠かったり暑くてぐったりしているせいか、挨拶が少ないですが、日中に校内を回ると、いろいろな子が「こんにちは」と声をかけた会釈をしたりしてくれます。今回のアンケート結果をみると、子どもたちは挨拶をしていると思っている子が多いです。今回のめあてのように、よい挨拶の具体を示し、大人が手本を見せるなどして、明るい挨拶がとびかう豊小を目ざし、策を講じていきたいと思ひます。ご家庭でもぜひお声がけをお願いいたします。花壇は目が行き届かず申し訳ありません。管理上の問題を踏まえ、可能な範囲で善処します。

4 日課や学校の体制、環境づくりなどについて

- トイレ掃除は事業者が入るか。匂いがきつくて入るのを我慢してしまうようだ。
- お茶がなくなった時に外水道以外に入れられるようにしてほしい。冷水器導入の検討を望む。
- できれば副担任など配置し、もう少し子どもの様子を気にかけてほしい。担任が忙しすぎて、おそらくだが、手のかからない子はあまり見ていただけていない気がする。
- 4年生以降は6時間授業が増え、帰宅後にほっとする時間が少なく、宿題が負担になっている。勉学に励むことや集中力も欠けることに繋がるので、授業の在り方や6時間授業を週3にするなど、無くすことも視野に考えてほしい。
- 給食の時間を長くしてほしい。成長期に関わる栄養を考えられた給食の大切さは子どもも理解しているが、食べる時間が少ないことで栄養がしっかり取れていないと感じる。配膳の簡素化を視野に、会食の時間を増やせないものか。又、先生によっては「残さない！食べれないなら増やさない！」という厳しい指導があるようだ。子どもにだって大人にだって苦手な食べ物はある。厳しい指導ではなく、「一口食べてみて食べれないなら残していいんだよ。デザート食べたいけど時間がなくてデザートまでたどり着けないなら、途中でデザート食べてもいいよ。」というように、楽しい給食であってほしい。がんばったことを褒めることで食育は育つと思う。

長寿命化工事により、今後トイレも改修します。その後の掃除や管理をしっかりと、清潔を保つようにしていきます。冷水器は管理や予算を鑑み、検討事項にいますが、学校予算にも限りがあります。多めに水分をもたせていただきますよう、今後ご協力をお願いいたします。

学校規模により教職員数は決まっております、現時点で副担任の配置はできかねますが、担任以外の教員のサポートは可能な範囲で行っています。教職員増加に向けた国の対策にも期待したいところです。前述の回答とも重なりますが、今後、より個に応じた授業形態を取り入れ、「手のかかる子・かからない子」と見るのではなく、どの子にも学びの充実を図るようにしていくことが大切だと考えます。先進校の取り組み等を参考に、豊小のスタイルを模索していきたいと思っております。1コマの授業時数や週の時間数を減らしている学校は、帯の時間も授業時数に入れ、必要時数を確保していると思われまます。学校の在り方が急速に変化する過渡期の今、そうした動きは参考にし、よいと思うことは導入しますが、現状としては朝の活動を授業時数に計上しない意向です。コンクール前などは自学の時間としますが、読書やお話タイム、読み聞かせや係活動などにあて、ゆとりをもった朝のスタートをとり、授業時数も十分に確保をしていきたいからです。保護者の皆様からもさまざまなご意見をいただきます。慎重に考えていきたいと思っております。

給食の時間ですが、工事の関係で配膳室が遠くなった学年もありますが、従業員さんのご協力と効率のよい配膳を工夫しています。他校同様の時間は確保しておりますので、会食中の指導や声かけで十分に食べることができるようしていきます。残食指導ですが、再度共通認識を図りました。ご指摘のような指導はないはずですが、気になる際にはすぐにご相談ください。

5 その他

- 朝の交差点の混雑が気になる。スクランブル交差点になるといいなと思う。
- 部活動の復活をお願いしたい。子供は有料で参加にして顧問を雇うなど、やり方をなんとか見つけてほしい。大会はなくても、部活動で得られる経験は大きいのではないかと感じる。

信号機や横断歩道などは、公安委員会が歩行者数や交通量などにより交通規制基準に沿って設置を決めると認識しております。スクランブル交差点の設置は状況的に難しいでしょうが、その他交通量などで心配な点は、自治会などに声をあげていただくことも一つの方法です。学校は、隔年で通学路点検を重点的に行い、要望などを市に報告することになっています。そのような際にも自治会と連携しております。自治会や見守り隊などの地域のかたがた、交通指導員さん、PTAによる立番など、登下校の際に多くのかたが子どもたちの安全に配慮していただいていることに、この場をお借りして感謝を申し上げます。

市は小学校の部活動を廃止しました。教職員は本分である授業や学校行事、児童対応などに専念するという方向で進んでおります。部活動についてはさまざまなご意見があることでしょう。市民の声を聞く場を利用するなど、各自のご判断で市に意見を出されてはいかがでしょうか。

6 アンケートの集計結果より

令和6年度前半のアンケートにご協力ありがとうございました。また、貴重なご意見やご要望も書いていただき、感謝申し上げます。学校改善に生かしていきたいと思っております。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、概ねよい評価をいただきました。保護者対象の回答結果からは、「家庭での読書」「家庭での学習習慣」「すすんで挨拶」などに課題があることがわかります。家庭で過ごす際に読書時間を十分に確保することはなかなか難しいと思っておりますが、学校では「読書通帳」も取り入れています。向山図書館（12月からは改修工事のため休館）、まちなか図書館など、市の施設利用時に使えますので、機会を見つけてご活用ください。また、家庭学習や挨拶は、学校とご家庭が連携をして取り組むことで成果が上がります。ぜひ、一緒に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。子どもたちの回答も「読書」が課題です。学校司書や図書ボラ、読み聞かせボラの皆さんのお力を借りながら、読書・調べ学習への活用充実を進めていきたいと思っております。

「そう思う」の割合を増やす、少数意見の子どもたちに目を向けるといった意識で、一人一人の子どもたちに寄り添った指導や支援がしていけるよう、職員一同尽力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。